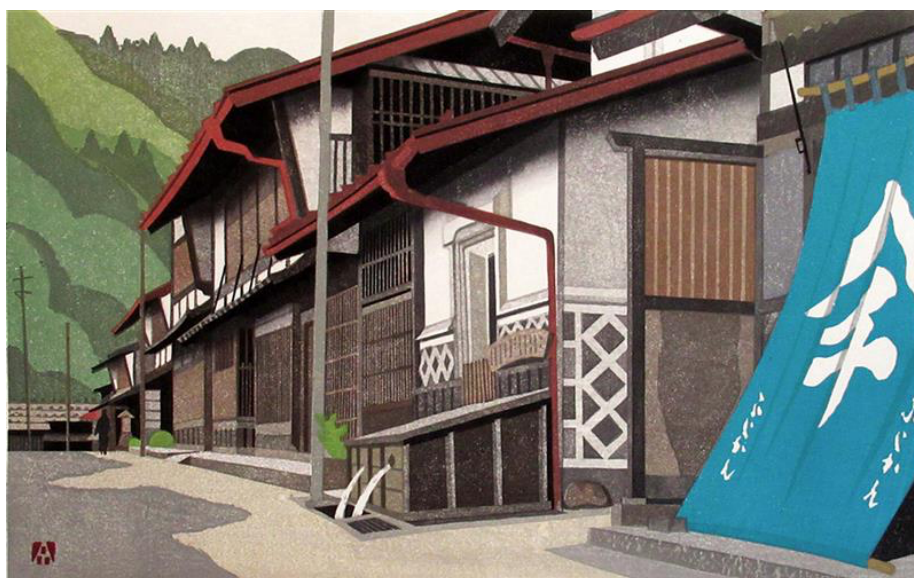


## 齋理屋敷特別企画展

### 廣長威彦（ひろなが たけひこ）木版画展を開催！

～心に沁みるのは郷愁か旅情か～



丸森町地域商社、株式会社 GM7（本社：宮城県丸森町、代表取締役：齊藤良太）は2021年4月から丸森町蔵の郷土館「齋理屋敷」の指定管理事業者として施設の運営を行ってまいりました。

この度、素敵なお縁があり齋理屋敷としては初めてとなる画家の作品展『廣長威彦（ひろなが たけひこ）』（以下、廣長氏）木版画展を開催いたします。

齋理屋敷では、これまで地域の皆様のご協力のもと、たくさんの作品展を開催してまいりましたが、画家の作品を展示公開することは初めての取り組みとなります。廣長氏は大英博物館に2点の木版画が所蔵されている著名な作家でありながら、営利よりも日本の原風景を絵として残すという強い信念のもと、50年を超える画歴において1万点以上の作品を生み出しました。

今回は、廣長氏の作品を多く所有するスポットライトギャラリー（仙台市青葉区）代表取締役 遠藤幸恵さん御協力のもと、江戸時代後期から昭和にかけての歴史を色濃く残す齋理屋敷での作品展が実現に至りました。古き良き時代の風景や街並みを柔らかなタッチで表現された味わいある作品をこの貴重な機会に、ぜひご覧ください。

## ●展示会開催の経緯について スポットライトギャラリー 代表取締役社長 遠藤幸恵さん

2021年の晩秋、廣長氏のお身内からアトリエに残された作品と資料の全てを託されました。その年の2月から3回に渡る地震によって被害を受けたアトリエ兼住居となっていたその家は、膨大なデッサンと資料、制作用具、版木等で埋め尽くされ、人生の全てを画業に捧げていた暮らしが垣間見えるところでした。壁の中にまで作品がしまわれており、私共のお客様である建築関係の会社のお力をお借りして、壁を壊していただき作品を取り出しました。真冬の郡山で暖房の効かないその家に8回足を運びましたが、それは宝石を掘り出すような寒さを忘れる作業でした。手漉きの和紙（人間国宝・九代目岩野市兵衛の越前和紙）に日本古来の色彩で、すべて自刻自刷りの約300種に及ぶ多色木版画の作品は、幾竿もの桐のタンスに大切に収めされておりました。その中の2点は、海を越えてイギリスの大英博物館にも所蔵されております。

## ■ 齋理屋敷特別企画展 廣長威彦（ひろなが たけひこ）木版画展概要

開催期間：6月1日（火）～7月2日（日）※毎週月曜日は休館日です。祝日の場合は翌日休館日になります。

場 所：蔵の郷土館 齋理屋敷 新館ホール（〒981-2165 宮城県伊具郡丸森町字町西 25）

時 間：9時30分～16時00分

料 金：入場料：大人 620円 子供 310円

問い合わせ

TEL：0224-72-6636 FAX：0224-72-2280 Mail：[sairiyashiki@gm7.jp](mailto:sairiyashiki@gm7.jp) 担当 伊藤

## 【ご参考】 企業概要

会 社 名：株式会社 GM7

所 在 地：宮城県伊具郡丸森町字町西 22-2

設 立：2018年4月24日

代 表 者：代表取締役 齊藤 良太

事業内容：地域商社事業、飲食

U R L：<https://gm7.jp/>

【蔵の郷土館 齋理屋敷 公式HP】 <https://sairiyashiki.com/>

SNS：

【Facebook】 <https://www.facebook.com/sairiyashiki>

【Twitter】 <https://twitter.com/sairiyashiki>

【Instagram】 [https://www.instagram.com/sairi\\_yashiki/](https://www.instagram.com/sairi_yashiki/)